

「海フェスタにいがた」で周知活動を行いました。

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、2018年7月21日（土）、22日（日）の両日、新潟県新潟市の「海フェスパーク」で開催された「海フェスタにいがた」（主催：海フェスタにいがた実行委員会）にて、周知活動を行いました。その様子をご紹介します。

このイベントは、新潟港開港150周年を記念して、海に対する親しみを醸成することを目的に、7月14日（土）から22日（日）にわたって開催されたものです。

新潟県で事業を展開している株式会社高助（全国塩元売協会、全国輸入塩協会会員）が、地元の縁で、7月21・22日の両日、このイベントに出展することとなったので、海と深いつながりのある「塩」と暮らしの関わりや、時節柄、注意が必要な熱中症対策について、お伝えすることとしました。

会場では、地元企業による飲食品の販売や、ステージイベント、子供向けのアトラクションなど、さまざまな催しが行われました。株式会社高助もブースを出展し、来場者の皆様に、塩と暮らしを結ぶ運動の冊子『塩と暮らしのなるほどBOOK』やクリアファイル、マグネットをお配りし、塩と暮らしの関わりについてお伝えするとともに、熱中症対策としてウチワや塩飴をお渡ししました。また、お子様には、塩イルカの風船もお配りしました。

イベントには、連日大勢の来場があり、株式会社高助のブースでは、2日間合計で、約1,000名の方に『塩と暮らしのなるほどBOOK』や塩飴などを配布することができました。炎天下に屋外でのブース出展だったため、特に塩飴やウチワがご好評をいただきました。また、お子様には、塩イルカの風船も「可愛い」と大変人気でした。

